

令和4年度
第2回 親子進路説明会

—高校入試制度と今後の動き—



荒川区立第三中学校

令和4年10月8日（土）

3年 組 番 氏名

目 次

1	はじめに	P.2
2	今後の主な予定	P.3
3	都立学校入試について	P.4
1)	都立高等学校	
2)	入試の仕組み	
	推薦に基づく入試（推薦入試）	
	学力検査に基づく入試	P.6
	(1) 第一次募集・分割前期募集	
	(2) 第二次募集・分割後期募集	P.8
2)	東京都立産業技術高等専門学校	P.10
	推薦による選抜	
	学力検査による選抜	
3)	都立入試調査書について	
4)	総合得点計算例	
5)	その他の入試選抜	P.12
6)	都立高校のインフルエンザ対応について	
7)	本人得点の開示および学力検査における答案の開示	P.13
4	私立高等学校の入試について	
1)	推薦受験	
2)	一般入試	
3)	第1志望入試	
4)	一般入試併願優遇制度等	P.14
5	私立高等学校等保護者負担軽減事業制度	
6	高等学校へいくための奨学金・貸付金	P.15
7	高等学校進学以外の進路について	
1)	就職	
2)	サポート校	
3)	専修学校高等課程・各種学校（専門学校）	P.16
4)	職業能力開発センター	
8	進路関係の留意事項	
1)	進路選択にあたって	
2)	学習について	
3)	生活について	
4)	出願、手続きなど	P.17
5)	その他	P.18
9	参考資料	P.20

1 はじめに

2学期中間考査を終え、本格的に進路決定に向けて取り組む時期になりました。焦る気持ち、不安な気持ちで揺らぐ、自分との闘いの時期です。「どうすればいいんでしょう？」と言われても、家族や親友すら、代わってあげられないのが人生の選択です。

どうすれば「自分にとって良い選択」になるのでしょうか？

それは、「次のステージで、その場所で、何をするか」を考えて選ぶことです。

もし、ここで失敗しても、人生が決まることはありません。失敗だと思ったら、それをどうやって次のステップへの力に変えるか、その力がこれからの社会で活躍するあなたがたに必要な力です。

進学・就職先に様々な期待を持ち、試験を潜り抜けていくことと思いますが、どこへ行ってもよいこと、辛いことに直面するでしょう。「このステージでこれをやろう。」と思って新しいスタートを切った人は、気に入らないことや辛いことがあっても、自分の時間を無駄にすることはなく、次のステップへ向けて、力をつけていきます。

反対に、「高校に入れば何とかかな？」とあまり考えずに決めると、辛いことや気に入らないことに対して「別に周りにも同じような人がいるし・・・。」と悪い方にズルズルと引きずられてしまうことが多々あります。

次に、湧いてくる不安とどう向き合うか、です。

方法はただ一つ「勉強する」です。どんなに落ち着かなくても1問解く。英文を1ページ音読する。そうやって不安に押しつぶされそうな時間をやり過ごすのです。3日続ければ「あんなにつらい気持ちの時に3日間も続けられた。」1か月ほぼ毎日取り組めば「1か月間も自分と向き合い勉強に励めた！」という自信になります。何か前向きなことに1つ取り組むことで、3日先、1か月先の自分の心と学力を支えるのです。

最後に受験についてです。

最も大切なことは体調管理です。心身ともに健康であるために、食事や睡眠など、規則正しい生活を心がけましょう。特に、睡眠時間を削る勉強は、学習効果が落ちる上に体力を消耗します。受験当日にベストコンディションで臨むためにも健康な生活をしましょう。

また、疑問に思うことがあったら、必ず担任の先生に相談しましょう。

「この願書の書き方、これでいいのかな？たぶんオッケー」なんてもってのほかです。要項をよく読んで、先生の話の思い出し、保護者の方に相談しながら準備しましょう。分からない場合は、自分で判断せず、担任の先生や学年の先生に相談してください。当日は心置きなく全力を出し切れるよう、準備をしましょう。

3月、第一志望に決まる人も、そうでない人もいます。どこに決まっても自分の将来に対する目標を見失いさえしなければ、充実した生活を送ることができます。そのように思える進路先を選び、そこに向けて先生方や保護者の方とともに準備をしていきましょう。

2 今後の主な予定

月	主 な 予 定
10月	第2回五科テスト（25日） 第2回進路希望調査（配布：3日） 三者面談（26日～11月4日） 学年面接練習開始
11月	第3回五科テスト（21日） 期末考査（16日～18日） 第3回進路希望調査（配布：10日） 校内推薦委員会 受験写真撮影（25 or 28日で調整中） 学校長面接開始 入試のための確認カード（配布：11月28日） 自己PR下書き
12月	三者面談（11月29日～12月8日） 推薦願い・併願優遇願い（配布：面談時 提出：〆切面談終了日） 私立高校入試相談（15日～） 調査書作成願い（配布：面談時 提出：随時） 私立高校推薦書・調査書提出 私立高校一般入試調査書提出 自己PR清書
1月	調査書記載事項通知（11日） 都立推薦出願（12日～18日郵送必着） 都内私立推薦出願（15日～） 都内私立推薦受験・合格発表（22日～） 都内私立一般出願（25日～） 都立推薦入試（26・27日） 都立産業技術高専推薦 （出願12～18日、入試27日、発表2月2日） 都立一次・分割前期出願（2月1日～2月7日郵送必着） 都立産業技術高専一次出願（2月1日～2月7日郵送必着）
2月	都立推薦合格発表（2月2日、手続き3日まで） 都内私立一般入試・発表（10日～） 都立産業技術高専一次入試（入試15日、発表20日） 都立一次・分割前期入試（21日）
3月	都立一次・分割前期入試発表（1日、手続き2日まで） 都立二次・分割後期入試出願（6日） 都立二次・分割後期入試（9日） 都立二次・分割後期入試発表（15日、手続き16日まで） 都立定時制二次（出願22日、入試27日、発表28日） 都立通信制（出願および入試4月上旬、※詳細は10月頃発表予定）

※校内の予定は、日にちが前後する場合があります。

3 都立学校入試について

1) 都立高等学校

※都立高等学校入学者選抜の詳細は、7月発行の「令和5年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」で必ず確認してください。

※東京都教育委員会ホームページ <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/>

2) 入試の仕組み

【推薦に基づく入試（推薦入試）】

ア) 推薦に基づく選抜として、一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦に加え、令和4年度からは特別推薦（理数）を設ける。

イ) 選抜日程

事 項	日 時
出 願	令和5年1月12日（木）から1月18日（水）まで ※インターネットを活用した出願を行う（各家庭で） 郵送により提出する書類は、都立高等学校が指定する郵便局留め
面接・実技試験等	令和5年1月26日（木）27日（金）
合格者の発表	令和5年2月 2日（木）午前8時30分～ ウェブサイト掲載 午前9時30分～ 校内掲示
入学手続	令和5年2月 2日（木）午前9時30分～午後3時30分 2月 3日（金）午前9時～正午

ウ) 推薦に基づく選抜の対象学科及び募集人員、特別推薦の対象人員率（定員の20%または30%）「令和5年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。※10月発表予定

エ) 推薦基準

- 1 その学校を志望する目的意識が明確で理由が適切なこと。国・私立含め第一希望であること。
- 2 志望する学校に対する適性、興味・関心があること。
- 3 人物が優れていること。
- 4 学習成績が良好であること。
- 5 専門学科等に関連する教科の成績が優れていること。
- 6 その他（本校の定める推薦基準を満たしていること）

オ) 応募資格

- 1 令和4年12月31日現在、都内の中学校に在籍し、令和5年3月に卒業する見込みの者。
- 2 保護者と同居している者で、令和4年12月31日現在、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。父母のどちらか一方とも同居していない場合は、担任へお問い合わせください。

カ) 出願手続き

- 1 提出書類 入学願書、調査書（中学校が作成）、推薦書（中学校が作成）、自己PRカード（本人作成）
※令和5年度入試では、文化・スポーツ等特別推薦において「活動実績等を証明する書類等の写し」の提出は不要。
- 2 考査料 2,200円（都内金融機関で払込み、領収書を願書に貼付）
※ 一般推薦と特別推薦の両方を受ける際は4,400円かかる。
- 3 提出方法
(1)令和5年度入試では、すべての都立高等学校でインターネット出願を実施する。
(2)郵送により提出する書類は、各自で各都立高校が指定する郵便局へ郵便局留めで送付する。（指定期限内に）

※詳細は東京都教育委員会ホームページを確認すること。

キ) 検査、選考方法

- 1 入試 個人面接（特別推薦は集団面接の場合もある）、**集団討論**、小論文または作文、実技（実施の有無は各学校で決める）
- 2 選考方法 (1) 小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査の中からいずれか一つ以上を全ての学校で実施する。（例：自己PRスピーチなど）
(2) **個人面接に加え、集団討論を原則として全ての学校で実施する。**
※令和5年度入試では、**集団討論は行わない。**
- 3 調査書点 (3) 対象人員枠の上限を、普通科は、20%、専門学科は30%とする。
9教科の評定を合計したもの。
エンカレッジとして指定された高校は、観点別学習状況の評価を用いる。

ク) 入学手続き

- 1 入学確約書を手続き期間内に提出し、納付期限内に入学料（全日制は5,650円、定時制は2,100円）を納入しなければならない。その他は、各高等学校別になる。
- 2 推薦に基づく選抜の志願者については、合格発表後の辞退はできない。

【一般推薦の例】

学 校 名	推 薦 に 基 づ く 選 抜									
	推 薦 枠		調 査 書 の 活 用		満 点					備 考 (選考における留意点)
	割 合 (%)	文 化 ・ スポーツ等特別推薦の有無	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価	評 定	調 査 書	個 人 面 接	小 論 文 ・ 作 文	実 技 検 査	学 校 設 定 検 査	
光 丘	20	○	—	○	300	150	作文 150	—	—	
青 井	20	—	—	○	500	300	作文 200	—	—	
足 立	20	○	—	○	450	240	作文 240	—	—	
足 立 新 田	20	○	—	○	600	*1 400	作文 200	—	—	*1 個人面接において2分間の「自己PR」を実施する。

【文化・スポーツ等特別推薦の例】

学 校 名 (学科名等)	内 容 等 (種 目 等)	人 数	文 化 ・ スポーツ等特別推薦の基準	調 査 書 の 活 用		満 点				
				状 況 点 の 別 評 価	評 定	調 査 書	個 人 面 接	小 論 文 ・ 作 文	実 技 検 査	学 校 設 定 検 査
向 丘	剣 道	男・2	以下の全てに当てはまる者 ○剣道二段と同等の優秀な技能をもつ者 ○入学後も本校剣道部に所属し、3年間継続して活動することができる者 ○礼儀・規律を守ることができる者	—	○	400	個人 200	—	400	—
		女・2	以下の全てに当てはまる者 ○剣道二段と同等の優秀な技能をもつ者 ○入学後も本校剣道部に所属し、3年間継続して活動することができる者 ○礼儀・規律を守ることができる者							
	バスケットボール	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校でバスケットボール部に3年間継続して所属し、高い技術・能力を有する者 ○入学後も本校バスケットボール部に所属し、3年間活動する強い意志がある者 ○礼儀・規律を守ることができる者							

【理数等特別推薦】

令和4年度より、立川高校創造理数科で実施。科学研究実績報告書を提出し、その内容に関する口頭試問がある。

※特別推薦の検査内容は、東京都教育委員会ホームページを参照すること。各学校の募集人員に占める推薦入試の募集人員の割合については、11月上旬に発行予定の「令和5年度東京都立高等学校案内」で確認してください。

【学力検査に基づく入試】

(1) 第一次募集・分割前期募集

ア) 第一次募集・分割前期募集日程

事 項	日 時
出 願	令和5年2月1日(水)から令和5年2月7日(火)まで ※インターネットを活用した出願を行う(各家庭で) 郵送により提出する書類は、都立高等学校が指定する郵便局留め
志願変更	【取り下げ】令和5年2月13日(月)午前9時～午後3時 【再提出】令和5年2月14日(火)午前9時～正午
学力検査および面接 実技検査等	令和5年2月21日(火)集合 午前8時30分 ※面接および実技検査は各校で定める
合格者の発表	令和5年3月1日(水)全日制 午前8時30分～ウェブサイト掲載 午前9時30分 校内掲示 定時制 午前8時30分～ウェブサイト掲載 午後4時 校内掲示
入 学 手 続	令和5年3月1日(水)全日制 午前9時30分～午後3時30分 定時制 午後4時～午後8時 3月2日(木)全日制 午前9時～正午 定時制 午後4時～午後8時

分割募集 募集人員を分割し、第1次募集期間(分割前期)と第2次募集期間(分割後期)の2回に分けて募集を行う。

イ) 募集人員

「令和5年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。

※令和4年度入試より、男女別の定員がある学校では男女枠が緩和され、男女別定員の各9割に相当する人員までを総合順位により決定した後、募集人員の1割に相当する人員を男女合同で総合順位の順に決定する。

ウ) 男女別定員の緩和措置の実施状況

男女別定員を定めている都立高校(全日制普通科(単位制及びコースを除く。))の男女合同定員による入学者選抜への移行について、中学校の進路指導に与える影響を考慮し、段階的・計画的に進めていくことを公表した。(令和3年9月)

令和4年度は入学者選抜では、男女別定員を定めている都立高校(109校)全校において、男女それぞれの定員の10%を男女合同とする男女別定員の緩和措置を実施した。

男女別定員を定めている都立高校(109校)全校において、男女それぞれの定員の10%を男女合同として合格者を決定したことにより、男女の合格者数について「男女合同定員の場合と同じ結果になる学校」、「男女合同定員の場合、女子合格者が増加する学校」、「男女合同定員の場合、男子合格者が増加する学校」の、それぞれの学校数は次のとおりである。

男女合同定員の場合と同じ結果になる学校(109校中)	男女合同定員の場合、女子合格者が増加する学校(109校中)	男女合同定員の場合、男子合格者が増加する学校(109校中)
81校(74%)	23校(21%)	5校(5%)

【令和4年度入学者選抜緩和状況・東京都教育委員会ホームページより】

エ) 応募資格

推薦による選抜と同様。ただし、都立高等学校の推薦に基づく選抜、連携型中高一貫教育に関わる選抜の合格者は、出願できない。また、都立産業技術高等専門学校の合格者は、受検できない。

オ) 出願手続き

<全日制・定時制>

1 入学願書、調査書（中学校で作成）、面接を実施する学校においては自己PRカード（本人作成）を提出する。

2 考査料 <全日制> 2,200円（都内の金融機関で振り込み領収書を願書に貼付する）
<定時制> 950円（都内の金融機関で振り込み領収書を願書に貼付する）
※昼夜間定時制高校は950円で確認すること。

3 提出方法

(1)都立高等学校が指定する郵便局へ、出願受付期間に必着するよう、各自が簡易書留等で郵送する。

(2)令和5年度入試では、すべての都立高等学校でインターネット出願を実施する。（分割前期・第一次）

※詳細は11月に配布される「令和5年度東京都立高等学校募集案内」または東京都教育委員会ホームページを確認すること。

カ) 志願変更

志願者は出願後、1回に限り志願変更をすることができる。
いったん取り下げた学校には、再提出することができない。
再提出ができないケースがあるので、注意が必要である。

【入学願書再提出先一覧】

再提出		全 日 制	定 時 制		定時制単位制以外
			定 時 制	単 位 制	
取下げ	チャレンジスクール (注1)、 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA (注2)	○	×	グ ル ー プ B (注 3)	×
	グ ル ー プ B (注 3)	×	×	×	×
全 日 制		○	×	×	×
定 時 制	定 時 制 単 位 制	○	○	×	×
	定 時 制 単 位 制 以 外	×	×	×	×

キ) 学力検査

- 検査教科等の実施内容については、各校が定める。5教科が多い。
3教科入試の場合は、午後に面接や実技検査が実施される。
3教科入試は、専門学科で実施されることが多い。

【エンカレッジスクール】足立東、蒲田、練馬工業など
面接（パーソナルプレゼンテーションを含む）、小論文による検査を行う。

※学力検査を実施しないが、調査書は提出する。

【チャレンジスクール】

総合学科の六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋（令和4年度より）
普通科の八王子拓真高等学校（チャレンジ枠）

面接及び作文（50分）を実施し、学力考査は行わない。

※推薦による選抜は実施しない。

※出願において、調査書の提出は必要としない。また、自己PRカードの代わりに、学校所定の志願申告書を提出する。

2 時間割

	開始時間～終了時間	時間	実施科目
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国語
第2時限	午前10時20分～午前11時10分	50分	数学
第3時限	午前11時40分～午後 0時30分	50分	英語
第4時限	午後 1時30分～午後 2時20分	50分	社会
第5時限	午後 2時50分～午後 3時40分	50分	理科

3 問題の作成（自校作成）

自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）。残り2教科（社会、理科）は都立高等学校共通問題により実施する。

全日制高校のうち以下の10校では、第一次募集・分割前期募集において、学力検査問題を自校で作成します。これらの学校については、自校で作成した問題（国語、数学、英語）と都立高校共通問題（社会、理科）で学力検査を実施します。

学校名	作成方法
日比谷高校、戸山高校、青山高校、西高校、八王子東高校、立川高校、国立高校、新宿高校、墨田川高校、国分寺高校	国語、数学、英語の学力検査問題をそれぞれの高校（自校）で作成

なお、国際高校については、英語の学力検査問題のみを自校で作成しています。

また、一部の定時制高校でも、自校で作成した問題により入試を行っています。

（「令和5年度東京都立高校へ入学を希望する皆さんへ」より）

ク) 入学手続き

入学確約書を期間内に提出し納付期限内に入学料（全日制5,650円、定時制2,100円）を納入しなければならない。

（2）第二次募集・分割後期募集

ア) 分割後期募集・全日制第二次募集日程

事項	日 時
出 願	令和5年3月6日（月） 午前9時～午後3時 ※持参
志願変更	【取り下げ】 令和5年3月7日（火） 午前9時～午後3時

	【再提出】 令和5年3月8日（水） 午前9時～正午
学 力 検 査	令和5年3月9日（木） 集合 午前8時30分 ※面接および実技検査は各校で定める
合格者の発表	令和5年3月15日（水） 正午

イ) 定時制第二次募集日程

事 項	日 時
出 願	令和5年3月22日（水） 午後3時～午後7時
志願変更	【取り下げ】 令和5年3月23日（木） 午後3時～午後7時 【再提出】 令和5年3月24日（金） 午後3時～午後7時
学力検査等	令和5年3月27日（月） 集合 各校が定める時刻
合格者の発表	令和5年3月28日（火） 午後3時

ウ) 募集人員

- 1 分割後期募集は、募集人員の定める通り。
- 2 第二次募集は、第一次募集の結果、入学手続き者が募集人員に達しない相当の人数。

エ) 応募資格

すでに都立高等学校（都立産業技術高専を含む）に合格したものは出願できない。

※一人でも多くの生徒の都立高等学校への進学を保障する趣旨から、すでに国市立高等学校に入学手続きを終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

オ) 出願手続き

書類、考査料など第一次募集と同様。ただし、願書については、分割後期募集・第二次募集用を用いる。定時制の場合は、定時制二次募集用を用いる。

カ) 志願変更

志願者は出願後、1回に限り志願変更をすることができる。

ただし、再提出ができないケースもあり、注意が必要である。

【分割後期・全日制二次募集】

再提出		全 日 制	定 時 制 単 位 制
			チャレンジスクール （注1）、 八王子拓真高校 （チャレンジ枠） 及びグループA（注2）
取下げ			
全 日 制		○	×
単 位 時 制	チャレンジスクール（注1）、 八王子拓真高校（チャレンジ枠） 及びグループA（注2）	○	○

【定時制二次募集】

再提出		定 時 制	
		定 時 制 単 位 制	定 時 制 単 位 制 以 外
取下げ		グ ル ー プ B （ 注 3 ）	
定 時 制	単 位 時 制	グ ル ー プ B （ 注 3 ）	○
		定 時 制 単 位 制 以 外	○

キ) 学力検査

- 1 分割後期募集は、国語、数学、英語の3教科及び面接とする。
- 2 第二次募集は、原則として国語、数学、英語の3教科とし、面接等については各高校が定める。

ク) 分割募集する学校

日本橋、八潮、田園調布、深沢、竹台、大山、青井、足立新田、淵江、南葛飾、田柄、など
蒲田※、足立東※、練馬工業※、中野工業※（※印は、エンカレッジスクール）など
定時制単位制高等学校（一橋、浅草、荻窪）など

2) 東京都立産業技術高等専門学校

推薦による選抜

ア) 都立高等学校入試の推薦による選抜とほぼ同様

日程：出願 令和5年1月12日～18日郵送必着、検査1月27日、発表2月2日

イ) 都立高等学校入試の推薦と異なる点

- 1 入学考査料 … 12,600円
- 2 出願時に、1年次のキャンパスについて、品川キャンパスか荒川キャンパスのどちらを希望するかを願書に記入する。
- 3 入試小論文(60分)と面接
- 4 合格者は、入学確約書を提出し、入学料42,300円(都民)を納入しなければならない。
- 5 合格者は、都立高等学校の学力検査による選抜に出願できない。

学力検査による選抜

ア) 都立高等学校入試の学力検査による選抜とほぼ同様

日程：出願 令和5年2月1日～2月7日郵送必着、検査2月15日、発表2月20日

イ) 都立高等学校入試の学力検査と異なる点

- 1 第一次募集日程(都立高等学校より早い)
- 2 1年次のキャンパスについて、志望順位をつけて出願することができる。
- 3 入学考査料 … 12,600円
- 4 学力検査… 国語、数学、英語の3教科で、数学の得点を1.5倍で傾斜配点を行う。
- 5 都立高等学校の第一次募集・分割前期募集に願書を提出してよいが、産業技術高専に合格した場合、都立高等学校の学力検査は受けられない。

3) 都立入試調査書について

評価・評定ほか、総合的な学習の時間の内容および評価、諸活動の記録がある。諸活動の記録には、検定や係・委員会活動、部活動、地域活動の記録などが記入される。

調査書の内容については、令和5年1月1日に、各生徒の保護者宛に「調査書記載事項通知書」を配付するので、保護者に確認してもらおう。

4) 総合得点計算例

ア) 調査書、学力検査、実技検査、面接(実施した場合)、小論文又は作文(実施した場合)を総合した成績で行う。

イ) 調査書点(2学期の通知表の成績をもとに算出)と学力検査の得点にESAT-Jの得点を合計する。

ウ) 調査書点は、下のよう^に学力検査がある教科とない教科の合計になる。

区 分	学力検査がある教科	学力検査がない教科
学力検査を3教科で実施する高校	評定の数字の合計	評定の数字の合計×2倍
学力考査を5教科で実施する高校	評定の数字の合計	評定の数字の合計×2倍

(例) 5教科の学力検査を行う学校の場合

評定(学校の成績) … 9教科がすべて「3」の生徒

$$\frac{15}{5 \text{ 科目}} + \frac{(12 \times 2)}{\text{実技}} = 3.9$$

エ) 学力検査の得点と調査書点の合計が1000点になるような計算をする。さらに ESAT-J の200点分を足す。合計は1200点満点となる。ただし、学力検査と調査書の比率は7:3、6:4、のいずれかを各高校が決めている。この合計点を総合得点という。

【総合得点を出すための調査書点と学力検査の得点の比率計算】

学力検査点：内申点	学力検査点換算の公式	内申点換算の公式
6 : 4	本人の得点 ÷ 300 × 600点 (得点 × 2倍)	内申点 ÷ 75 × 400点
7 : 3	本人の得点 ÷ 500 × 700点 (得点 × 1.4倍)	内申点 ÷ 65 × 300点

※3教科入試は6:4になる。

オ) 面接や実技試験を行う学校では、総合得点にさらに面接点、小論文又は作文点、実技点を加えて合否を判断する。

この合計点を総合成績という。この点数によって合否が決まる。

(例) 5教科、傾斜配点を行わず、学力検査と調査書の比重が7:3、面接の満点が200点、作文の満点が100点及び実技検査の満点が200点の学校の場合

学力検査	7 : 3	調査書点	面接点・作文点	実技検査点
↓		↓	↓	↓
500点 (100点×5教科)		↓	↓	↓
↓		↓	↓	↓
700点 (換算後)	+	300点 (換算後)	200点+100点	200点
↓		↓	↓	↓
1000点 (総合得点)	+	300点	+	200点
		↓		
		1500点 (総合成績)		+ESAT-Jの得点

【普通科の入試実施方法例】

第一次募集・分割前期募集										分割後期募集・第二次募集											
分割募集	男女	学力検査		調査書		学調	満点					学力検査		調査書		学調	満点				
		教科	教科の評定の扱い		力		学	調	面	小論文・作文	実技	教科	教科の評定の扱い		力		学	調	面	小論文・作文	実技
			学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科							
-	○	国数英社理 (国数英は 自校作成)	1倍	2倍	7:3	700	300	-	-	-	国数英	1倍	2倍	6:4	600	400	-	-	-		
-	○	国数英社理	1倍	2倍	7:3	700	300	-	-	-	国数英	1倍	2倍	6:4	600	400	-	-	-		

【専門学科の入試実施方法例】

第一次募集・分割前期募集										分割後期募集・第二次募集											
分割募集	男女	学力検査		調査書		学調	満点					学力検査		調査書		学調	満点				
		教科	教科の評定の扱い		力		学	調	面	小論文・作文	実技	教科	教科の評定の扱い		力		学	調	面	小論文・作文	実技
			学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科									学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科							
-	○	国数英--	1倍	2倍	6:4	600	400	-	-	運動能力 テスト等 #1 300	国数英	1倍	2倍	6:4	600	400	-	-	運動能力 テスト等 #1 300		
○	○	国数英--	1倍	2倍	6:4	600	400	-	-	運動技能 等検査 #2 500	国数英	1倍	2倍	6:4	600	400	個人 200	-	運動技能 等検査 #2 500		

【総合得点の計算例：A君の場合】

(1) A君の内申点と学力検査の得点

評定(学校の成績) … 9科がすべて「4」

学力検査の得点 … 国語80点、数学60点、英語70点、社会80点、理科70点

合計360点

(2) 総合得点の計算例 ※令和5年度より総合得点にESAT-Jの結果の得点を加える。

(学：調＝7：3、5科目入試)

$$\frac{360}{\text{学力検査合計}} \div \frac{500 \times 700}{\text{得点換算}} + \frac{(20 + 16 \times 2)}{5 \text{科 実技}} \div \frac{65 \times 300}{\text{得点換算}} = \frac{744}{\text{総合得点}} + \frac{12}{\text{ESAT-JがCの場合}}$$

※ESAT-Jのスコアレポートは令和5年1月中旬にスコアレポートを受け取る。

評価は6段階、20点満点の点数として取り扱う。

ESAT-Jは新学習指導要領下での現時点での自分の英語能力をみるもので都立受検の有無に関わらず、全員が受験する。

なお、不受験者の扱いについては、「令和5年度 東京都都立学校に入学を希望する皆さんへ」のP41を参照してください。

カ) 傾斜配点

各教科の満点は100点とし、特定の教科の配点に比重をかける(傾斜配点)学校もある。

【傾斜配点実施校】

深川(英2倍)、松が谷(国英2倍)、小平(英2倍)、国際(英2倍)、科学技術(数理1.5倍)、千早(国英1.5倍)、大田桜台(国英社1.5倍)、産業技術高等専門 など

5) その他の入試選抜

ア) 国際バカロレア(IB)コース入試 国際高校

出願 令和5年1月23日・24日、検査 1月26・27日、発表 2月2日

イ) 在京外国人生徒対象入試

出願 令和5年1月23日・24日、検査 1月26日、発表 2月2日

※国際高校は2月15日検査実施

ウ) 帰国・引揚げ生徒対象入試

出願 令和5年2月6・7日、検査 2月15日、発表 2月17日

エ) 通信制 出願・検査 令和5年4月初旬、発表 4月15日

6) 都立高校のインフルエンザ等の対応について

中学校長が出席停止にすることができるインフルエンザ等の学校感染症(新型コロナウイルス感染症を含む)に罹患した者又は新型コロナウイルス感染症への感染が疑われ、受検日現在、濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている者及びPCR検査(行政検査)の結果を待っている者(これから検査を受ける予定の者を含む)は、受検することはできない。

追検査を希望する者は、中学校長を経由して「インフルエンザ等学校感染症罹患等に対する措置申請書」により、罹患証明等(医療機関の証明書)とともに出願した高等学校へ提出する。申請がない高等学校では、追検査が行われない。

ア) 追検査の実施

追検査は、分割後期・全日制第二次募集と同日程で行う。第一次募集で出願したが受検できなかった学校にのみ出願することができる。

※分割募集を実施する都立高等学校においては、追検査を実施しない。

※一次・分割前期募集で出願した都立高等学校に限り出願できる。

※志願の変更はできない。

※分割後期・全日制第二次募集には応募できない。

イ) 追々検査の実施

罹患者等になったため、追検査または分割後期募集を受検できなかった者に対して、追々検査を実施する。

※追々検査の日程については11月上旬に発行予定の「令和5年度東京都立高等学校募集案内」で確認すること。

7) 本人得点開示および学力検査における答案の開示

ア) 学力検査の得点表および答案の開示

受検者は学力検査等の得点表と答案の開示を請求できる。開示の際には受験票が必要となるので、入試後も保管しておく。

イ) 開示申請の受付

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 推薦入試 | 一次・前期募集の発表の翌日から令和5年8月末まで |
| 2 一次・前期募集の開示 | 発表の翌日から令和5年8月末まで |
| 3 全日制 後期・二次募集の開示 | 発表の翌日から令和5年8月末まで |
| 4 定時制 二次募集の開示 | 発表日から令和5年8月末まで |

※合格者は令和5年5月から8月末日まで

※令和4年度入試より電子申請も可

ウ) 開示請求および受領

受検者本人または保護者が開示を受けることができる。

本人の場合は、受験票と本人確認できるもの（身分証明書など）を提示する。

保護者の場合は、受験票と本人確認できるものに加えて、受検者との関係を証明できるもの（住民票の写しなど）が必要である。

4 私立高等学校入試について

第1志望、第2志望に関わらず、学校説明会や体験学習などにはできる限り参加する。難しい場合は、合同説明会やWeb見学会も試みること。

1) 推薦受験

ア) 日程 出願 令和5年1月15日～ 入試 令和5年1月22日

イ) 推薦基準

学力（学校の評定）や人物、行動などで基準がある。

基準を満たさない者は推薦受験できない。

ウ) 試験

面接、作文（実技）、学力考査など

※合格後、一般入試日（又は、指定された日）に、クラス分けの学力調査として一般入試を受けなければならない学校もある。

2) 一般入試

日程 出願 令和5年1月25日～ 入試 令和5年2月10日～

※他県入試は1月から実施

3) 第1志望受験

ア) 私立高等学校を第1志望にしているが、推薦基準には成績が足りないときに利用する制度として位置づける学校がある。

一般受験者よりは有利に扱ってくれる学校もある。一般受験者と共に2月の入試を受ける。

イ) 基準

第1志望受験推薦にも推薦入試と同様に基準があり、基準を満たさない者は第1志望受験はできない。

4) 一般入試併願優遇制度等

ア) 主に都立高等学校（高専を含む）が第1志望の場合に利用する。第1志望校が不合格の場合は必ず入学するという約束で有利に扱う制度。一般受験者とともに2月の入試を受ける。

イ) 基準

推薦、第1志望受験と同様に基準があり、基準を満たさない者は併願優遇制度を利用できない。

ウ) 入学金など費用の延納

都立高等学校の1次・分割前期入試発表の翌日まで延納を認めていることが多い。

私立高等学校との併願の場合は、第一希望合格発表の翌日の場合が多い。

※各校の募集要項を確認する、または個別相談で確認しておくこと。

【推薦・併願優遇制度の利用】

中学校の教員が高等学校と入試相談（令和4年12月15日以降）を行うため、希望者は担任に申し出る（10月末からの三者面談）。基準を満たさない者は希望があっても推薦受験や優遇受験ができない。基準は各学校が決める。評定の合計で決まることが多いが、検定や諸活動の実績で加点されることもある。その際は検定の合格証や賞状のコピーなどが必要となる場合もあるので準備しておくこと。

基準を満たなくても「自己推薦制度」を取り入れている高校もあるので、説明会や個別相談（生徒および保護者と高等学校での相談）で確認すること。

○公立併願：都立高等学校を第一志望とし、その私立高等学校を第二志望とする場合。

○公私併願：都立高等学校だけでなく、他の私立高等学校も受験する場合。

※併願優遇制度の利用例

ケース1 第一希望：都立高校、第二希望：私立A高校（公立または公私併願優遇）

ケース2 第一希望：都立高校、第二希望：私立B高校（一般）、第三希望：私立C高校（公私併願）

ケース3 第一希望：私立D高校（一般）、第二希望：私立E高校（公私併願）

5 私立高等学校等保護者負担軽減事業制度

東京都では、私立高等学校等に在学する生徒の保護者の授業料の負担を軽減することを目的として、次の2つの補助事業を実施している。

1 私立高等学校等就学支援金

2 私立高等学校等授業料軽減助成

尚、東京都に在住する生徒と保護者については、「私立高等学校等就学支援金」（いわゆる「高校授業料無償化」に伴い、平成22年4月から開始された国の法律の基づく制度）と「私立高等学校等授業料軽減助成」の両制度を併せて利用することができる。（所得制限あり・一部の家庭を除く）。詳しくは「東京都私学財団」のホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

○就学支援金、授業料軽減助成金、奨学給付金

東京都私学就学支援金センター

(03) 5206-7925


6 高等学校へいくための奨学金・貸付金

【高校進学費用（年間）】

公立		私立	
平成30年度文部科学省「子供の学習費調査」等より		(*)参考 東京都生活文化局「東京都の私学行政2020年」より試算 (※以外)平成30年度文部科学省「子供の学習費調査」より	
入学金	5,650円(全日制の場合)	入学金	25万円*
授業料(就学支援金充当分を除く)	2万5千円	授業料	46万円*
授業料以外の学校納付金(PTA会費など)	5万5千円	授業料以外の学校納付金(施設費など)	21万4千円*
修学旅行・遠足・見学費、 図書(教科書など)・学用品	7万6千円	修学旅行・遠足・見学費、 図書(教科書など)・学用品	9万7千円
制服・通学費	7万9千円	制服・通学費	11万4千円
教科外活動費(クラブ活動などの費用)他	4万円	教科外活動費(クラブ活動などの費用)	5万6千円
おおよその必要総額	28万1千円	おおよその必要総額	119万1千円

【主な奨学金・貸付金】

このチラシで紹介する
「奨学金・貸付金」の種類



奨学金(貸与)・貸付金

- ・低所得世帯のお子さんを対象とする
 - ◆東京都育英資金
 - ◆生活福祉資金(教育支援資金)
- ・ひとり親家庭のお子さんを対象とする
 - ◆母子及び父子福祉資金
- ・遺児家庭のお子さんを対象とする
 - ◆あしなが奨学金
 - ◆交通遺児育英会奨学金

※この他、各自治体が類似の制度を行っている場合がありますので、お住まいの役所へご確認ください。

国公立向け

- ・世帯の収入状況等により国公立高校向けにはこのような制度もあります。
 - ★就学支援金
 - ★奨学給付金

貸付ではありません。返済不要です。

私立向け

- ・世帯の収入状況等により私立高校向けにはこのような制度もあります。
 - ◆入学支度金貸付制度
 - ★就学支援金
 - ★授業料軽減助成金
 - ★奨学給付金

貸付ではありません。返済不要です。

受験生

また高校に入る前にもこのような制度があります。

- ・受験料や学習塾の費用の貸付を利用する…
 - 受験生チャレンジ支援貸付金

※東京都育英資金予約募集は終了

(東京都社会福祉協議会「高校へ行くための奨学金・貸付金等のご紹介」7月配付)

7 高等学校進学以外の進路について

1) 就職

学校に職業安定所(ハローワーク)から送られてきている求人票をもとに、具体的な職業を選択する時期に入っている。縁故関係の就職の場合も担任とよく相談して決定すること。

2) サポート校

中学校にも多くの学校から学校案内などが送られてきている。通信制高等学校などとの連携によって3年間で高校卒業の資格が取れる。私立高等学校の推薦、第2志望推薦にあたる制度を実施する学校もある。都立高等学校の併願校としても利用できる。

3) 専修学校高等課程・各種学校（専門学校）

中学校にも多くの学校から学校案内などが送られてきている。その中には、私立高等学校などとの連携によって3年間で高等学校卒業の資格が取れる学校もある。私立高等学校の推薦、併願優遇制度にあたる制度を実施する学校もあるので、都立高等学校の併願校としても利用できる。

4) 都立職業能力開発センター（旧職業技術専門学校）

求職中または新たに職業に就こうとしている人が就職に向けて必要な知識・技能を学ぶ。

4月入学

募集期間：令和5年1月6日～2月4日

選考日：令和5年2月15日・16日・17日のいずれか1日

8 進路関係の留意事項

1) 進路選択にあたって

- ア) 現在の学力をよく知り、保護者とよく相談すること。また、担任へも相談や報告をする。
- イ) 希望する学校をよく知る。学校説明会や見学会（Webも含む）などには必ず参加すること。推薦や併願優遇制度の利用を検討する場合は、個別相談を行う。学校までの交通機関や所要時間なども調べておく。
- ウ) 学校の方針や部活動などを調べ、納得した上で選択すること。都立高等学校を希望する際は、「本校の期待する生徒の姿」をよく読むこと。

向丘	本校は、「自主・誠実・明朗」の教育目標を掲げ、進学指導研究校として、進学指導の充実を図っています。また、Society5.0に向けた学習方法研究校として様々な学び方についての教育活動を広く進めています。本校の教育活動に共感し、自己を高め、明るい未来を展望し、自らの世界を切り開くため、努力することができる次のような生徒を期待します。 1 将来の目標に照らし合わせ、志をもって、学習に意欲的に取り組む生徒 2 4年制大学進学への強い意志をもち、自分の進路を積極的に切り開くことができる生徒 3 学習活動のみならず、部活動・学校行事・生徒会活動等に積極的に参加する生徒 4 他者を理解し、問題解決に向けて協働ができ、リーダーシップを発揮しようとする生徒 ※ 特に特別推薦においては、上記1から4までの高い意識を持ち、他の模範となる生徒が望ましい。
上野	本校は創立97年を迎える伝統校であり、国際社会で活躍する新しい時代のリーダーにふさわしい豊かな教養と人間性を育成し、「地域・東京を代表する進学校」を目指しています。 そこで、次のような生徒の入学を期待します。 1 本校の教育目標「自主協調」「 <small>せいじく</small> 散智健康」を理解し、本校への志望の意志が明確である生徒 2 学習成績が優秀で、国公立大学や難関私立大学への進学意志が強く、自主的・意欲的に学習に取り組む生徒 3 入学後も向学心に燃え、将来の進路実現に向けて常に努力を続けることができる生徒 4 学校行事、部活動、有志活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒 ※ 特に推薦選抜においては、国公立大学への現役合格を目指すという目的意識の高い生徒が望ましい。 ※ 「文化・スポーツ等特別推薦」においては、活動を3年間継続し、学業と両立できる生徒が望ましい。

(令和4年度東京都立高等学校入学者選抜「本校の期待する生徒の姿」より)

2) 学習について

- ア) 受験日まであきらめず、焦らずに努力を続ける。
- イ) 授業は今まで以上に集中し、課題の提出期限は必ず守る。
- ウ) 家庭において、授業を受けたらその日のうちに復習する。復習以外にも過去問に取り組む。eライブラリに全国の入試問題があるので活用する。

3) 生活について

- ア) 規則正しい生活を心がける。受験日に体調を崩すことがないように気をつける。
- イ) 身だしなみ、あいさつ、言葉遣いなど、基本的なことをきちんと見直す。面接試験のことも意識した生活をおくる。試験のときだけでなく、日ごろから良識ある行動を心がける。
- ウ) 自己の責任で、生活改善に取り組む。
- エ) 残された学校生活を最上級生としてふさわしい態度で過ごす。

4) 出願、手続きなど

ア) 受験写真

願書などに貼る受験用の写真は、学校で撮影する。(11月28日(月)で調整中)
 事前に注文用の封筒を配布するので、必要分の代金を入れて撮影当日持参する。
 インターネット出願用にデータでの購入が可能。

イ) 願書など受検(験)用書類の入手

(1) これまでのように、紙の入学願書は必要ありません。

「推薦に基づく入試」及び「学力検査に基づく入試(第一次募集・分割前期募集)」では、原則としてインターネットを通じて出願を行います。

(2) 「学力検査に基づく入試(分割後期募集・第二次募集)」用の入学願書については、中学校で配布します。なお、以下に記載する高校を受検する場合は、各校独自の入学願書となるため、各高校に問い合わせ、各自で入手してください。

(都立産業技術高等専門学校、特別選抜を実施する高等学校や定時制単位制総合科など、学校によっては、直接学校から必要書類を受け取る学校もある。)

(「令和5年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」より)

○次の昼夜間定時制高校

一橋高校、浅草高校、新宿山吹高校、荻窪高校

○チャレンジスクール

六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校

○通信制課程の高校

一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校

○海外帰国生徒対象の高校

三田高校、竹早高校、日野台高校、国際高校

○引揚生徒対象の高校

深川高校、光丘高校、富士森高校

○在京外国人生徒対象の高校

竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、

国際高校

○国際バカロレアコース

国際高校

※詳細は「令和5年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」参照

(2) 私立高等学校や専門学校等は受験校が決まり次第、各自でその学校へ直接行って購入するなどの方法で手に入れる。

(3) 受験用書類のうち願書は、生徒本人が記入し、保護者に確認を受ける。

記入は黒のボールペンなどを用いる。鉛筆やフリクションは使用しない。

押印の必要がある場合は、スタンプ印ではなく朱肉を使用する。

訂正する場合は、訂正箇所にも二重線を引いた上で、訂正印をもって訂正する。可能ならば、新たに書き直すと良い。修正テープ等は使用しない。

都立高等学校の願書は、事前に専用振込用紙で検定料を納め、裏面に領収証を添付した上で中学校へ提出する。校長による公印が押され返却されるので、郵送するまで大切に保管しておく。

- (4) 調査書や推薦書等は中学校で作成するので、12月の三者面談後すぐに担任へ提出する。また、書類関係でよくわからないときは、必ず担任または学年の教員に相談する。

ウ) 調査書・推薦書

中学校が作成する。12月の面談後すぐに担任へ用紙を提出する。また、調査書や推薦書は進路先宛の親展書類なので、開封しないで進路先に提出すること。開封すると無効になる。

エ) 出願

- (1) 都立高等学校は各校が指定する郵便局へ、出願受付期間に必着するよう、各自が簡易書留等で郵送する。

- (2) 令和5年度入試では、すべての都立高等学校でインターネット出願を実施する。

※詳細は東京都教育委員会ホームページまたは「令和5年度東京都立高等学校入学を希望する皆さんへ」P.45 参照のこと

- ・各自でインターネット出願に必要なアカウントを取得し、出願情報・顔写真を登録。
- ・入学願書に記載する情報をインターネット上の出願サイトに入力し、出願サイトの案内に従って入学料の決済を行う。※令和5年度入試から、入学料の納付方法は、納付書の他、クレジットカード払い等にも対応する予定。
- ・志願者は、出願サイトから入学願書を印刷し、保護者氏名が自署された入学願書を、中学校に提出する。中学校による確認後、必要書類を都立高等学校長宛てに、出願受付期間に必着するよう、都立高等学校が定める郵便局へ簡易書留等で郵送する。
- ・指定日以降、各自で出願サイト上から受検票をダウンロードし、印刷する。

- (3) 東京都の私立高等学校は、基本的には中学校で提出日を指定して一斉に出願する。インターネットや郵送による出願は、各自で確認すること。

オ) 受験票

出願の時に渡される受験票は、入試・発表・手続きに必要なため、入試後も大切に保管する。

カ) 入試関係の提出物

- (1) 進路関係で提出しなければならないものは、必ず期限を守ること。
(2) 個人に必要な書類や提出期限が異なるので、自己管理を徹底すること。
(3) 個人情報の取り扱いには十分注意すること。

5) その他

- ア) 出願、受験時、発表時などの怪我や事故に関しては、学校で加入している保険の適用外になりますので、ご注意ください。

- イ) 国立・都立・私立に関わらず、奨学金制度についての希望やご質問がある場合は担任または学年教員にご相談ください。

- ウ) 三者面談では昨年までの資料や高校側の基準を基に、進学の意味確認（入学後の高校生活を思い描けるか）、教育目標や学力への合致、入試制度の確認等を行います。面談の時間は限られています。ご家庭でよく話し合ってください。進路希望調査の記述欄をご活用いただくと、準備ができますのでより充実した面談時間となります。

- エ) 10月からの三者面談では、推薦や併願優遇制度の利用についての相談をします。希望する場合は、各校の入試説明会や個別相談に参加し、基準などを確認してください。

オ) 進路指導は、学年で行います。確認が必要なため、面談中に回答できない場合もありますが、後日お子様を通じてお返事いたします。

カ) 調査書作成願いについて

- ・本校では、資料2が印刷された封筒を使用します。(12月の面談で配布予定)
- ・この中に、願書作成に必要なものを学校ごとにクリアファイルに入れて、担任までご提出ください。
- ・なお、調査書の他に、書き方の見本をコピーして入れてください。調査書が都立高校様式と同じ場合は、必要ありません。
- ・調査書作成には時間を要します。お早めに提出してください。
- ・なお、不用になった調査書は返納ください。
- ・受験台帳作成のため、受験番号が分かり次第、各担任までお知らせください。
- ・高校からの「調査書受領書」はすみやかに提出してください。インターネットのコピーでもかまいません。

キ) 作成後の調査書等必要書類について

- ・推薦書、調査書、願書等、中学校の公印が必要なものの受け取りは、出願日より数日前になります。各担任まで早めに提出し、数日前もしくは前日にお受け取りください。
- ・「親展」文書は開けると無効になります。調査書記載内容の確認は、別途配布される「調査書記載事項通知書」にてご確認ください。
- ・進路に関する連絡事項は、学年通信または配布プリントで連絡されます。見落としが内容ご注意ください。

ク) 受験(検)に伴う留意点

- ・調査書等、受験(検)や就職に関する書類作成にあたり、「入試のための確認カード」(資料3)を提出していただきます。必ず保護者の方がご記入し、控えをとって提出してください。この確認カードをもとに、担任が調査書等必要な書類を作成していきます。大会名等は正式名称(賞状や検定証明書等に記載されたまま)でご記入ください。中体連関連以外の内容もお書きください。

【資料】

資料1 都立高等学校願書

(様式4) 令和4年度 東京都立高等学校入学願書 (全一次・分割前期) 定一次共通様式

東京都立 **西新宿** 高等学校長 殿

貴校への入学を志願します。

受験番号: 変更後:

出願区分: 全一次・分割前期 全一次・分割前期

定一次 定一次

志望校(第1志望校) **西新宿** 高校 専門学科への志願者で第2志望以下を志願する場合は、志望の順位を記入することができる。

コース **普通** (科/分) 第2志望 第3志望 第4志望 第5志望

志望校(第2志望校) 専門学科への志願者で第2志望以下を志願する場合は、志望の順位を記入することができる。

コース(科/分) 第2志望 第3志望 第4志望 第5志望

フリガナ **シンジウ 907** 性別

氏名 **新宿太郎** 男

生年月日 **平成18年8月8日15歳**

現住所(出願時の住所) **〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1**

入学式までに転居予定の人は入学後の住所

在学(出身)中学校名 **新宿区立 新宿中央** 中学校

卒業年月 **令和4年3月(卒業見込)** 卒業

写真 正面上半身脱帽 (4cm×3cm) 令和3年12月1日以降に撮影したもの・カラー・白黒どちらでも可

志願者 保護者 現住所(出願時の住所) **志願者と同じ** (電話) **03(5320)6775**

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立職業技術高等専門学校に在学していません。なお、事実と異なる記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても責任ありません。

推薦者氏名(自署) **新宿春子** 志願者との関係 **母**

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。 **令和4年1月31日**

新宿区立 新宿中央 中学校長 **東京花子** (電話) **03(5320)6755** [公印]

令和4年度 都立高等学校受検票 (全一次・分割前期) 定一次共通様式

受験番号: 変更後:

フリガナ **シンジウ 907**

受検者氏名 **新宿太郎**

在学(出身)中学校名 **新宿区立 新宿中央** 中学校

検査会番号

検査会名称

検査会場が入学願書受付票と異なる場合は、各高校が志願者に通知する。

検査日時及び時間割

令和4年2月21日(月) 午前8時30分集合

(1) 時間割(定時制成人受検者特別授業の受検者を除く。)

第1時限 国語 午前 9時00分 ~ 午前 9時50分

第2時限 数学 午前 10時20分 ~ 午前 11時10分

第3時限 英語 午前 11時40分 ~ 午後 2時30分

第4時限 社会 午後 1時30分 ~ 午後 2時20分

第5時限 理科 午後 2時50分 ~ 午後 3時40分

・検査教科が3教科の高校では、学力検査の終了時刻が異なる場合がある。

・実技検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。

・定時制成人受検者特別授業の受検者及び学力検査問題を自分で作成する定時制の受検者については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。

(2) 持ってくるもの

受検票、H B又はBの鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、直線定規(角度の目盛りのないもの)、コンパス、非罫、上履き

なお、時計以外の機材を備えた時計、携帯電話や時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

2 合格発表日時

全日制 令和4年3月1日(火) 午前8時30分(ウェブサイトで掲載※)

午前9時30分(校内掲示)

定時制 令和4年3月1日(火) 午前8時30分(ウェブサイトで掲載※)

午後4時(校内掲示)

※ 合格発表はここでいう予定です。
https://www.toritsu-goukaku.metro.tokyo.lg.jp/
(変更が生じた場合、Twitter(とうきょうの高校@tschu_haku)等でお知らせします。)

※ この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要のでないこと。

※氏名は住民票に記載されているものを使用するので、日ごろから書き慣れておくこと。

資料2 調査書作成願(昨年度のもの)

以下の記入例を参考に願書をよく確認しながら、ペン書きで記入する。不明な点は担任に確認し、必要のない部分には斜線を記入する。

注意: 調査書作成の際に、要項を確認する場合がありますので、必ず同封する。

・推薦・併願優遇等の制度を利用するもので、出願に必要な書類があれば同封する。(ただし、検定証明書、賞状などはコピーしたもの)

立	高等学校名	区分	調査書	出願方法	出願期間	家庭からの書類	担任	担任	受検日	発表日	延納	手続
都	私立	国	推薦	郵送	出願日	要綱・願書	確認印	受領印	受検日	発表日	手続き	手続き
都	私立	国	推薦 併願 一般	私指定 都立	郵送 直接 ネット	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願
都	私立	国	併願 一般	私指定 都立	郵送 直接 ネット	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願
私	私立	国	併願 一般	私指定 都立	郵送 直接 ネット	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願
私	私立	国	併願 一般	私指定 都立	郵送 直接 ネット	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願	要綱・願書 調査書・延納願

以下記入欄(上から志望順に記入。あてはまる項目を○で囲み、必要事項を記入する)

資料3 入試のための確認カード